

今年度の活動報告 及び 来年度の活動計画

気象庁 大気海洋部
気候情報課

令和5年度の活動報告

- 異常気象分析検討会（会合）の開催
 - 第1回（2023年8月28日）
 - » 報道発表「令和5年梅雨期の大雨事例と7月後半以降の顕著な高温の特徴と要因について」
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2308/28a/kentoukai20230828.html>
 - 第2回（2024年3月4日）
 - » 今年度の活動報告と来年度の活動計画
 - » 今冬の天候の特徴とその要因これらの会合において、夏と冬の予測の振り返りも実施
- 異常気象分析検討会・作業部会委員の任期（令和5年4月から2年間）開始
- その他の活動
 - 気候系診断会議（気象庁で毎月実施）やメーリングリストを通じた議論
 - JRA-3Qに基づく気候系監視プロダクトの利用開始
 - » 2023年5月：気候系監視に用いるデータセットをJRA-55からJRA-3Qへ切替え
 - » 2023年12月：統計資料（ENSOやIODの合成図解析等）をJRA-3Q版に更新
 - » 2024年3月中頃：熱帯低気圧の品質が改善されたJRA-3Qデータに基づくプロダクトへ差替え（予定）
 - 第1回異常気象分析検討会での「7月後半以降の顕著な高温の特徴と要因」に関する検討結果について、日本気象学会英文レター誌SOLAに掲載
 - » Takemura, K., et al. 2024: Preliminary diagnosis of primary factors for an unprecedented heatwave over Japan in 2023 summer
<https://doi.org/10.2151/sola.2024-010>

令和6年度の活動計画

- 異常気象分析検討会（会合）の開催
 - 来年3月頃（活動のまとめ/次年度計画の検討）
 - 異常気象発生時
- ENSOやIODが日本の天候に与える影響に関する調査
 - JRA-3Qを用いた合成図等の統計資料に基づき、ENSOやIODが日本の天候に与える影響とそのメカニズムについて調査を実施
 - 本調査の結果は、来年度の季節予報技術資料（旧 季節予報研修テキスト）に纏める予定
- 分析ツールの更新・拡充
 - 今年度に引き続き、異常気象分析Webへ「低気圧活動の監視（北海道大学稲津作業部会委員提供のプログラム利用）」、「寒冷渦マップ（三重大学春日博士、新潟大学本田作業部会委員提供のプログラム利用）」の追加を検討